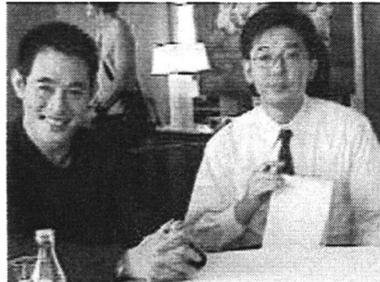


5/10 (水) 懇親会レポート

Try Againの音楽と共に連杰ご入場。く、黒のしーするーしゃつ、見えそで見えない(何が?) 焦る我々を尻目にとつと席につく連杰。で、席につくなり、いきなり場を仕切り始める。あれ? ちょっ、ちょっと…先ずは挨拶だよね?…挨拶でしょう…どーする?…どーしよー…やる気満々だもんね、彼…ま、いっか…いっか…スタッフのMちゃんと無言の会話(爆)そして、尚もサインはそれにしますか?と、こちらがお願いする前に生じゃを手繰り寄せてサインを始める連杰。うん楽だ。。。前日の試写会の時はすごく忙しくて落ち着いて連杰を見てられなかったけど、今日はじっくり見てられそうな予感(教訓: 予感があつたためしなし…)で、連杰はサインをしながら我々の質問に次々と答えてくれました。(以下Q&A)注: これは連杰が語った全てではありません。適当に端折ったりしてます。なにしろ話しが長くて…(殴)尚、()内はKのつぶやきです。

会員: RMDでのダンスシーンがとてもキュートでしたね

李: 今、思い出してみると面白いシーンだったと思います。周りが危険な状況という設定だったのであまり踊れなかったけど、あとで映画館で見た時、観客のみさんからJ E Tがもっと踊れば良いのにと言われました。それで僕も、もっと踊れば良かったなあと思っちゃって後悔してます。(次回はきっと華麗なダンスを見せてね)



会員: RMDでアリーヤを振り回すシーンがありましたが彼女は重くなかった?

李: アリーヤは軽かったですよ。あの映画の彼は女性を殴らない、それがどんなに悪い女性でも決して殴らないという設定だったんでアリーヤに代わりにやってもらいました。彼女はほんとに軽かった。ただこれにも条件はあります。今回は3、4回でOKが出ましたが、これを20回やるのは、、、ちょっと(←これは違う意味でちょっとなんだろーって突込みをいれたかった)



会員: 今回の来日でどこかへ遊びに行けましたか?

李: 今回の日程は前後合わせて2、3日しかないんだ。何処かに遊びに行けたらいいけど、帰ったら仕事も待ってるし、新しい映画の脚本の検討とかね。それに家族と一緒に過ごすのも大好きだから、、、(はいはい、早く帰ってニナさんとJaneちゃんに会いたって事ですね。)

会員：Janeちゃんはお父さん似？それともお母さん似？

李：まだ産まれて20日しか経ってないからどちら似かはわからないよ。みんなも僕に似てるとか妻に似てるとかいろいろ言うけど、でも手足は妻に似て長いよ。肌も白い（と嬉しそうに答える連杰。手足の長さとはもかく（殴）肌は君も充分白かった。。。昔は・戯）

会員：奥様のどんなところがお好きですか？

李：そういう質問をされる時、いつもうまい答えが見つからなくて困ってしまうんだけど、、、こんなところが好きとか、こんなタイプが好みだと言ってらうちは本当に愛する人とめぐり会っていないんだと思うな。本当に愛する人とめぐり会えたら、その人の為に名誉も地位も命だって差し出せると思うんじゃないかな。それが本当の愛だと思うよ（あれ？答えになってないような気がする。。。でも、なんとなく感動してる自分がいたりもする…←単純なやつ）



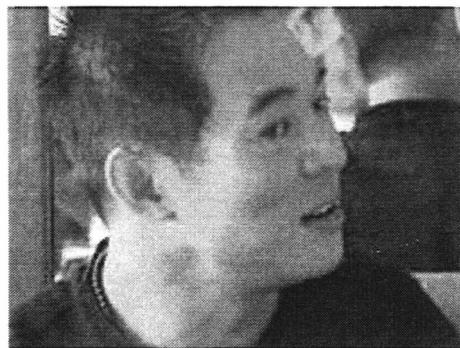
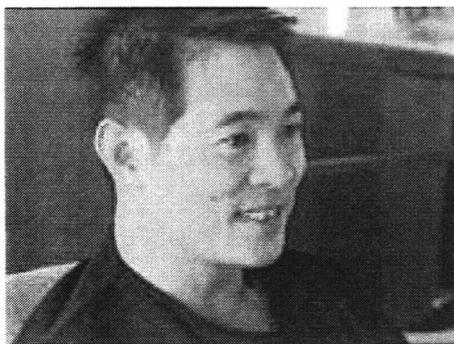
普通37歳の男がこんなポーズはしない



それも可愛く決まってるし…

会員：今後、どんな役を演じてみたい？

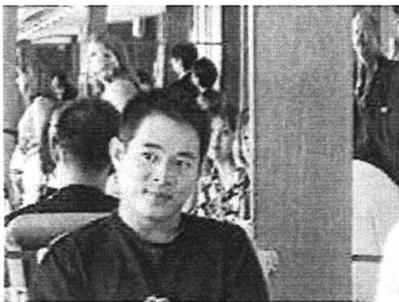
李：僕が映画に出ていつも思うことは、映画を通してみんなにメッセージを伝えたいって事なんです。たまたま今はハリウッドで仕事をする機会が出来て、始皇帝とか、グリーンホーネット、場合によってはマトリックス2、3にできるかもしれない。それで、そのほとんどがアクションものだけどアクションはただの手法であって目的ではないんです。では、目的は何でしょう？それは自分の力とか武術を見せる事ではなくて自分自身の愛とか心をもって相手を感動させたいということだと思います。



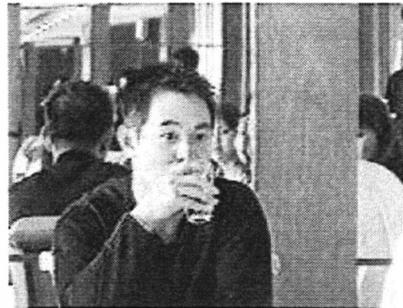
あつ！この目に感動
（そーゆーことじゃなくて…？）

会員：ストレス解消はどのようにしていますか？

李：僕のオフィシャルサイトを見てくれれば解るけど僕は強い哲学のようなものを持っています。人間って自分自身を特別の人とってしまうと、その時からいろいろなプレッシャーが生まれて、それがストレスにつながったりするだろ？でも、僕自身は特別な人間とは思っていないから例えば隣のお兄ちゃん（とは言ってなかったけど）と同じだからストレスもプレッシャーも感じないんだよ。（き、君は特別なヒトだよ。。。じゃなかったら、あかし達がこんなに夢中になる訳ないだろーが。。。わかってる癖に…いけず）世の中全て明日の事ってわからない。成功とか失敗にこだわらないで、常に自分自身がリラックスした気持ちを持ってれば毎日楽しく過せると思う。そして毎日一生懸命仕事をして、でもその結果については余り期待しない。とにかく期待しないという事で毎日楽しく過せます。（う～ん…わかったような、わからないような、かなりジジ臭いこと言ってるような…でも、話し終えた後の顔がすげー可愛かったの。このアンバランスが彼の魅力かなとも思う）



ふふ、なんかいい事言ったような気がする



さて、みんなの反応は？

会員：専属のヘアードレッサーはいますか？

李：映画の撮影中は勿論いますが、今回のようにツアーに出たときはその国の美容師さんをお願いする事もあります。でもそれも全て会社が手配してくれます。髪を伸ばす機会はないんです（って伸ばす機会がないんじゃないかって伸びてくると面倒くさくなって切っちゃうんじゃないの？それも丸刈り…）



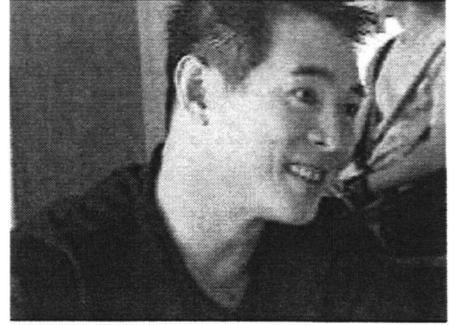
髪型を誉められ照れるりんちえ

会員：武術で限界を感じた時の対処法は？

李：それは何故、武術をするのかにもよります。僕なりに考えたところ武術をするには4つの目的があると思います。ひとつは身体を鍛えるということ。ふたつめはオリンピックに出てメダルを取るということ、みつつめは自分を守る為、そして、よつめに映画に出るということ。武術をやる時の勉強法はその目的によって違います。ただ自分の目的に向かって毎日努力する事が大切です。努力をすればいつかは夢が実現すると思います。（これって武術に限らずって感じですよ。ん！頑張らねば！←感化されまくり）

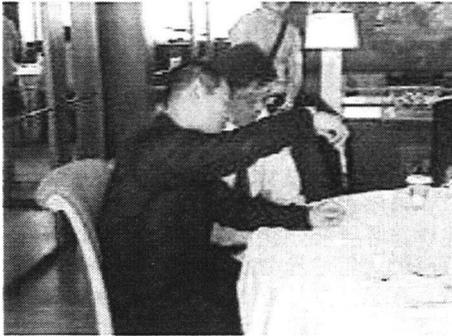
会員：日本の食べ物では何が好き？

李：しゃぶしゃぶが好きです（しゃぶしゃぶって日本語で言った。。。ふと、しゃぶしゃぶって名前に改名しよーかな～なんて考えてる大馬鹿野郎なあたし。あっ、はいじゃらでも可です。注釈：はいじゃら伝説（違）…ホテルの喫茶室で打ち合わせ中に連杰自らウェイトレスさん呼び、日本語でははいじゃら（灰皿）と、ご所望されたいらしい。。。う～連杰の”はいじゃら” 聞きたかった！）

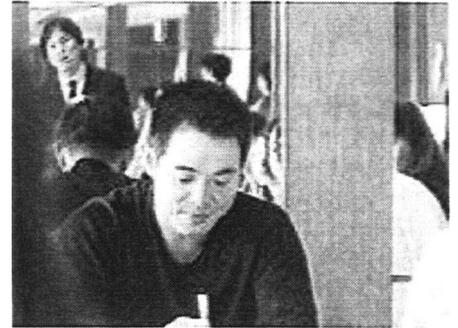


会員：RMDの撮影で一番大変だったシーンは何処？

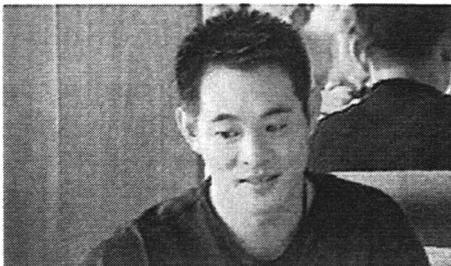
李：一番辛かったシーンは最初の刑務所での逆さ吊りシーンでした（よほど辛かったらしく今回はどのインタビューでもこのシーンのことを語ってましたね）普通に立ってアクションをする時は何回転かしても相手が何処にいるかはわかりますが（何回転って簡単にアンタ…）5分も逆さ吊りになっていると目が充血してきて前が見えなくなってくる、その上、回転しているものだから相手が何処にいるのかもわからなくなる。ほんとに辛かった…（←この”ほんとに辛かった…”って言った瞬間の連杰の顔がツボだった…あたし）



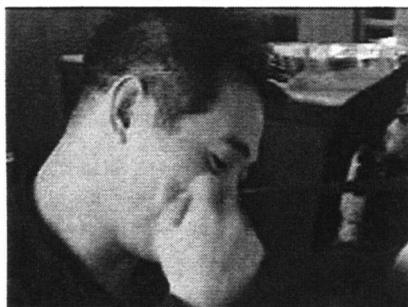
マジックペンを自分に見立て逆さ吊り撮影秘話を語る連杰



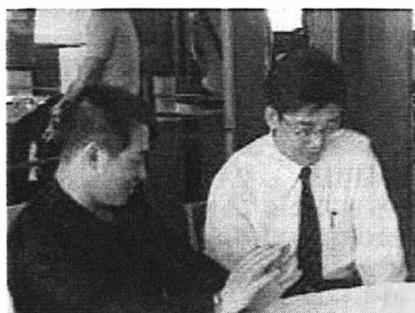
ほんとに辛かった…とため息交じりで語る連杰（違った意味であたしもため息）



李：少し楽しい話もししましょうか？（今の話しも充分楽しかったよ、あたし的には。。。にやり）今回こんな面白いエピソードもあったんだ。僕の肌はアレルギーを起こしやすい、自然でないものにすぐかぶれてしまったりするんだ（そー言えば、BMの撮影中にマスクの下に汗かいて顔中に水泡が出来てしまったって記事を当時の新聞で読んだよ。連杰の肌ってすっごくデリケートなんだね。で、その時の撮影は夏なのに冬の設定だったから冬の衣装でバテてしまってゲ〇も吐いたらしい…って完璧好きな方向（あ、ゲ〇好きって訳では…汗）に話しが反れて来た。。。失礼しました）特にスポンジがダメなので映画でメイクする時は自然素材のスポンジを使うようにしてるんです。でね、RMDの撮影中に、あるTVのインタビューがあったんだけど、そのインタビュー中にアリーヤがいきなり、僕のホッペにチュッてしたんだ。その時咄嗟に思ったことは、さあ大変！これ、TVで放送されちゃう！奥さんが見ちゃうぞ。で、その日あわててホテルに帰って妻に電話で事情を説明したんだ（絶句）その後、顔をバシャバシャ洗ったんだけどキスマークが残ってしまった。で、翌日撮影所でアリーヤに”君の唇にかぶれてしまったから、もう僕にキスはしないで”って頼んだんだ。（可愛すぎる。。。こいつ）それ以降は1度もキスされなかったよ（されなかったよってアンタ、一体いくつ…）ところが、プレミア上映の夜に、アリーヤとアリーヤのママがやって来て両方から僕のホッペにチュッてしたんだよお〜！凄く驚いたよ！（あたしや、そんなに驚くアンタに驚いたよ・爆）でも安心してください。その時の口紅はナチュラルなものでした（とこの話しを聞いている間、あたしの目はホテルのボーイさんに釘付けになってました。その彼ってば、すっごく楽しそうに幸せそうに連杰の話しを聞いてたんだもん。なんか嬉しかったな←相変わらず方向違いだし）



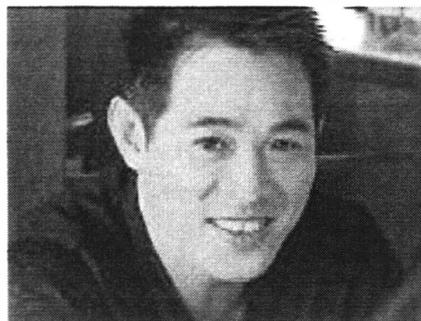
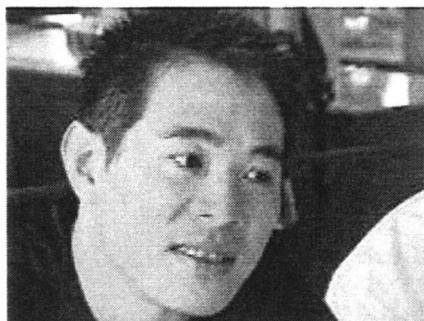
逆さ吊りから打って変わって明るくキス話を語る連杰。超キュート



アリーヤにキスはもうしないでって頼んだんだよ（李連杰37歳。キスを拒む男）

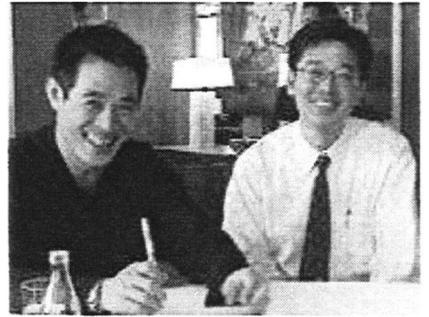
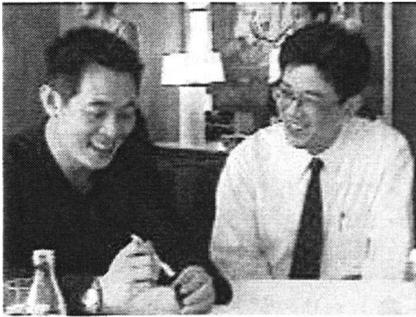
会員：アクションシーンだけの映画を撮って欲しい！

李：そうですね。ありがとうございます。先ほども言いましたが、来年あたりから非常に忙しくなると思っています。2、3本の映画を同時に製作することになると思うんだけど、自分はいつもどんな気持ちで仕事をしているかと言うと常にいい映画を全世界の観客のみなさんにお見せしたいと言う事なんです。これが皆さんに対して自分が出る唯一の方法、仕事の仕方だと思います（これも、答えになってないような、、、けど、生真面目な連杰の性格は充分、伝わったから、それでよしとするか・違？）



会員：気は短い方？それとも長い方？

李：気は長い方だと思うよ（と、答えはこれで充分なのだが、ここから陰陽を持ち出してやたら長い話になる。。。で、話しもどんどん反れていく、、、お約束お説教モードに突入）先ほども僕の哲学について少し触れましたが陰陽のバランスについて少しお話しします。陰があれば陽がある。陰陽を女性と男性に例えてみます。男性は女性についてあまりよくわからない。女性も男性の事がわからないと思います。それはお互いの立場に立って物事を考えていないからだと思うんです。だから僕はいつも相手の立場に立って物事を考えるようにしてるんです。相手の立場に立って物事を考えればイライラすることも腹が立つ事もなくなると思います。これを国に例えても同じ事が言えると思います。アメリカから見た中国、反対に中国から見たアメリカ。習慣や立場が違うと考え方もまったく違ってしまいます。でもお互いの立場に立てば理解もし合えるんじゃないかな、そうすれば世界が平和になる（知らん間に話しがでかくなってる。。。確か記者会見でも…爆）



そーこーしてるうちにプレゼントタイム。最初に会からのプレゼントをお渡ししました。来日が決まってから日数がなかった為、東京スタッフが独断で決めてしまいました。（すみません）で、一応普通のものにしようということになって（普通のものって…）サマーセーターに決めました。が、いざショップに向いてみると、、、時は4月の下旬。街はすっかり初夏の陽気。ウィンドウの中は既に夏バージョン。ダメ！長袖じゃなくちゃ着てもらえないよお〜。あたしたちの頭の中にはそんな観念が既にインプットされていた為（爆）ひたすら長袖を求めてさ迷い続けました。そして、やっと見つけた長袖サマーセーター。KENZOだけどいっかあ？いいよいいよ、プレミアの夜もKENZO着てたしさ。きっと連杰はKENZO好きなんだよ、と都合良く解釈し、そのセーターを購入。で、当日はセーターの他に花束、ジェーンちゃんに（なんとなく数珠のイメージだった）玉のブレスレット、アシスタントさんに旅行用目覚し時計（アラームなし）←意味ないじゃん！などもプレゼントいたしました。ちなみにセーターをお渡した時、連杰さんが見えそで見えない（だから何が？）シースルーシャツを指差しながら”僕がKENZO好きって事、何故わかったの？実はこれもKENZOなんだよ”と云ってくださった時には思わずガッツポーズ（死語）でした。尚、会でお預かりしていた皆さんからの誕生日プレゼント、カード等も前日の試写会のときに全てお渡し出来たことも合わせてご報告いたします。

